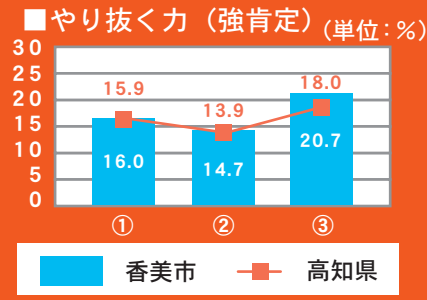


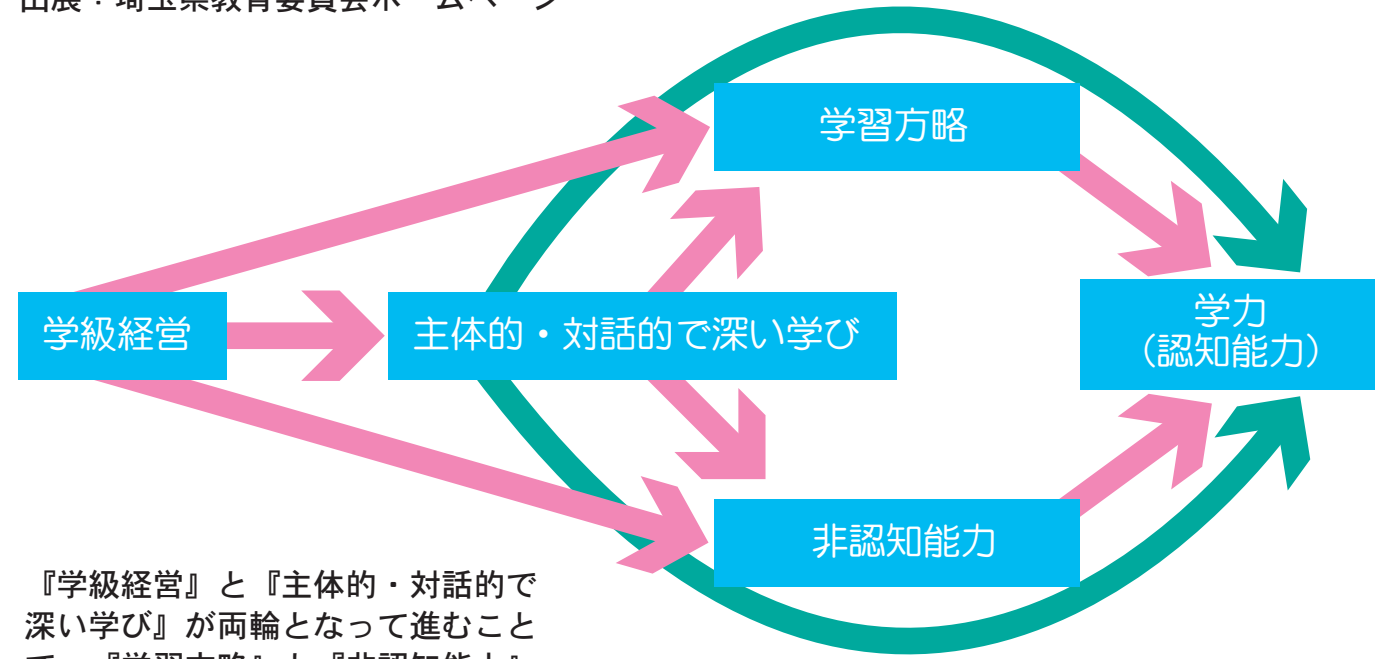
- ① 大きな課題をやりとげるために、失敗を乗り越えてきました
- ② 失敗しても、やる気がなくなってしまうこととはありません
- ③ 何事にもよくがんばるほうです

★質問項目（抜粋）



次に、『非認知能力』の『やり抜く力』について一部紹介します。非認知能力は、同じ力を経年で追っていきませんが、中学2年生では、『やり抜く力』を調べています。

出展：埼玉県教育委員会ホームページ



『学級経営』と『主体的・対話的で深い学び』が両輪となって進むことで、『学習方略』と『非認知能力』が向上し、学力が高まる。

本年度は、一年目の調査です。今後、本調査を活用して、一人ひとりの学力の伸びの状況を把握し、小中一貫を一層充実させ、個々に応じた支援を進めていきます。

そして子ども達自身が現在の力を知ること、『どれだけ自分が伸びたか』を実感し、自信を深めていくことを大切にしたいと考えています。

授業改善に努めます

各調査結果を受けて、各小中学校では、子ども達をつまづきについて詳細に分析し、授業改善に生かしているところです。

さらには、家庭学習の充実や放課後学習などへの取り組みも継続して行っています。

これから求められる力を明確にしなが、今後も小・中学校の学習のつながりが途切れないように、系統的な9年間の確かな学力の育成に向けて、小中が一貫した取組を進めていきます。

埼玉学力・学習状況調査

本市では、全中学校区（鏡野中学校区・香北中学校区・大柄中学校区）で、保小中一貫教育を目指しています。

子ども達の心身の育ちや学びが途切れないようにすることが目的です。

そこで、今年度より小学校4年生から中学校3年生までの育ちを継続して追跡できる本調査を実施することになりました。

① 認知能力  
計算や漢字の読み書きなどができる力。いわゆる教科のテスト。

② 非認知能力  
認知能力ではない能力全般。やり抜く力や勤勉性等。

③ 学習方略  
学習の効果を高めるために子どもが意図的に行う活動。計画的に学習に取り組むことや自分の状況に合わせて柔軟に学習の仕方を変更していくこと。

④ 主体的・対話的で深い学び  
本市では、3ページにある『探究型学習』としてとらえています。

終わりに

『よってたかたて地域が育てる教育』を合言葉とし、地域と共に歩む教育を進めて、7年目を迎えました。

日頃より、教科や総合的な学習の時間などの授業、学校行事などでは、地域の方々に本にお世話になっています。『よりよい社会づくりのために次世代の地域の担い手を育てる』ことが学校教育の使命であると考えます。地域での体験活動や人々とのふれあいを通じた学びと学校での学習が両輪となり、子どもの学力と社会性が育ちます。

現在、香美市ではコミュニティ・スクールや地域学校協働活動を積極的に進め、あらゆる場面で、たくさんの方々に子ども達の育ちを支えていただいています。

子ども達は、地域の自然、歴史や宝、そして人々の生きざまから、たくさん学びを得ています。

これからも、地域の皆さんからも協力をいただきながら、香美市の教育を推進していきます。

毎月20日は 教育の日

毎月20日は香美市内全ての小中学校で、終日参観が可能です。

ぜひ、お近くの学校にお越しください。

※20日が土日祝日の場合を除きます。

※保護者以外の一般の方も参観できます。

※コロナウイルス感染状況によっては中止となる場合もありますので、詳細については、直接、学校にお問い合わせください。

教育振興課  
☎ 53-1081



▲片地小3・4年生 総合的な学習の時間(まとめ・表現) 広島県尾道市立瀬戸田小学校6年生を迎え、龍河洞を案内



▲インタビューの集計作業(整理分析) 片地小3・4年生 総合的な学習の時間『龍河洞の認知度』について



▲インタビュー (情報収集)

教科の結果に加え、意識調査の結果から複数の視点で子ども一人ひとりの学力を構造的に分析することができます。

埼玉県教育委員会によると、平成27年度から令和元年度の過去5年間に得られた約30万人の調査データから、それぞれの関係を上の図のとおり示せることが分かってきました。

①認知能力の結果 (高知県との比較)

